

ワイヤーメッシュ柵設置のポイント！

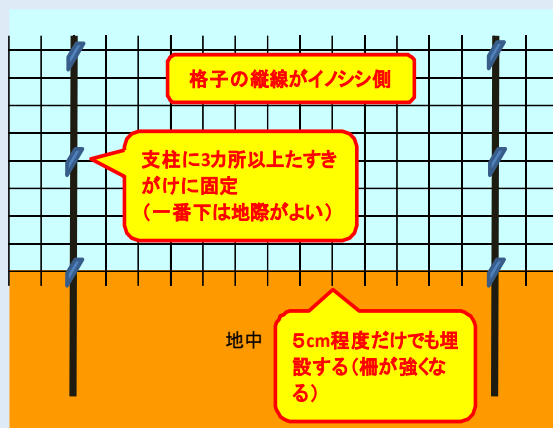
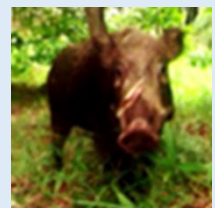
【ワイヤーメッシュ柵って何？】

物理的なイノシシ対策

- ◇ 土木建築工事などで使用されるワイヤーメッシュ(溶接金網)を物理的な侵入防止柵に利用するもの (ホームセンターなどでも取り扱いが増えています)
- ◇ 幼獣は 15cm 目合を通るため目合いは10cm 以下の金網が良い
(線径は5mm 以上が望ましい)

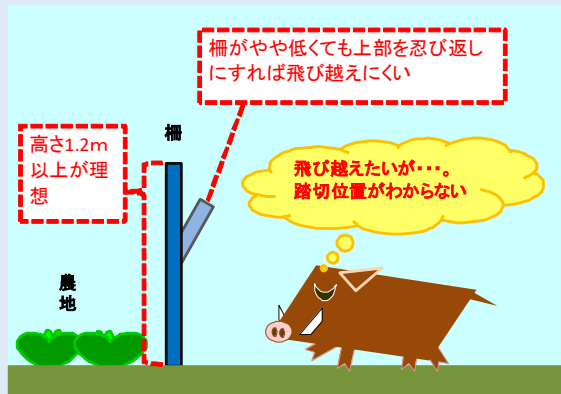
【設置のポイント】

- ① 設置や維持 管理がしやすい設置ルートを選定 しましょう
- ② 格子の縦線がイノシシ側 になるようにワイヤーメッシュを設置しましょう
(横線をイノシシがくわえて引っ張り、溶接が壊れることがあるため)
- ③ 支柱を地中に打ち込み、針金などで たすきがけに上、中、下3ヶ所以上 を強く固定しましょう (ワイヤーメッシュと支柱を同時進行で立てていくとよい)
- ④ ワイヤーメッシュ下部は足で踏み込むなどして地面に埋めて密着させ、凸凹部や傾斜地など高低差のあるところでも 隙間を空けない ようにしましょう
(イノシシは隙間や地際から侵入しようとします、5cm でも埋め込むと柵強度が増します)
- ⑤ 柵と作物、柵と山林の斜面との間隔を十分空ける ようにしましょう
(見通しが良い場所があるとイノシシは警戒して、それ以上侵入しにくくなります)

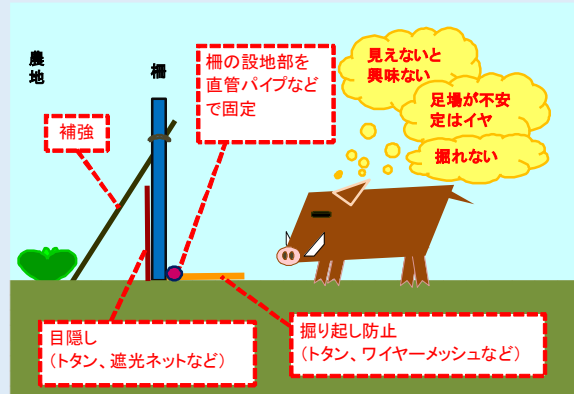


【更に効果を高める工夫例】

- ① ワイヤーメッシュの上部約 30cm をイノシシが来る方向に 30 度程度折り曲げ忍び返しにすると飛越えにくくなる（イノシシが飛越える踏切位置を遠くと勘違いする）
- ② ワイヤーメッシュ柵を寒冷紗などで柵の向こう側を見えなくする（イノシシは見えないと興味を持ちにくい）
- ③ 柵際の地面にトタンなどを敷き、掘りにくいとともに歩きにくくする（野生動物は足にケガをすることを嫌うので、近寄りにくくなります）



柵の高さは 1.2m 以上が理想
（低くても忍び返し）



柵の補強と改良

【柵管理のポイント！】

管理できなければ
入ってきます

- ① 侵入防止柵は管理しないとイノシシに破られます。定期的に見回りや補修・補強を行いましょう
（柵の外側に管理道を設置すると管理はしやすく、イノシシが近寄りにくくなる）
- ② 破損や隙間等を見つけたら、速やかに補修・補強しましょう
（イノシシは一度侵入した箇所から侵入を繰り返そうとするため補修・補強が重要）
- ③ 雑草が繁茂したら刈り取りましょう
（雑草が茂っていると様々な動物が近寄りやすくなります）

見通しが良いと警戒
して侵入しにくい